

目次

- P2 令和4年度定時総会
- P3 会長・市長・市議会議長あいさつ
- P4 表彰者・新役員・役員退任者
あいさつ
- P5 定時総会会長あいさつ
- P6 新旧副会長あいさつ
- P7 ガーデニングフェスタ
ふじまつり・歩かまい稲武
- P8・9 各委員会活動計画
- P10 女性部会活動計画
取材日記(豊寿園)
- P11 取材日記(山室花はうす)
- P12 事務局だより・ひとり言

表紙について

廃棄された浮きを使った
プランター
～ガーデンフェスタにて～

公益社団法人 豊田市シルバー人材センター

〒471-0027 豊田市喜多町6丁目61番地1
(豊田市福祉就業センターふれあいの家内)

TEL 0565-31-1007 FAX 0565-34-3238

ホームページアドレス <http://www.sjc.ne.jp/toyota>

メールアドレス toyota@sjc.ne.jp



会員数(2022.9.13現在) 2,048名《(男)1,381名(女)667名》



シルバーとよたは、古紙配合率100%の再生紙を使用しています



令和4年度 定時総会開催



6月9日(木)豊田市コンサートホールにて令和4年度定時総会が開催されました。令和2年度・3年度は、新型コロナウイルスの影響により規模を縮小しての開催でしたが、3年ぶりに会員の皆様が出席できる形で行うことができ、200名を超える会員に出席いただきました。

当日は、豊田市コンサートホールのオルガニスト徳岡めぐみさんによるパイプオルガンの演奏から始まり定時総会へ、会長挨拶の後、発注者感謝表彰並びに会員表彰・役員表彰が行われました。

続いて、豊田市長太田稔彦様・豊田市議会議長板垣清志様からご祝辞を頂き議事に進みました。

令和3年度の事業報告・収支決算、役員選任の2つの議案は全て可決・承認されました。議事終了後は、安全適正就業委員会の青木委員長による安全宣言があり、就業中の事故「ゼロ」を目指す声を高らかに宣言され定時総会は終了しました。



当日の会場の様子



板垣市議会議長あいさつ



太田市長あいさつ



幸村会長あいさつ



当日会員の皆さんを
迎えてくれた銀イチローさん



司会進行
岡本 いく子会員



議長
加藤 清会員



安全・適正就業委員会による安全宣言



徳岡めぐみさんによるパイプオルガンの演奏



表彰を受けられた皆様おめでとうございます!



【表彰された皆様】《会員表彰》

【役員を退任された皆様】



(写真左より)

松本 政保 様 加藤 純次 様 堀 晨雄 様

(写真左より)

粕谷 浩二様(豊田市役所)・青木 日出夫様(足助地区)
堀 寛次様(高橋地区)・堀 晨雄様(豊南地区)

【新役員の皆様】



(写真左より)

南 良明理事(豊田市役所)・夏目 誠理事(下山地区代表)・柴田 正次郎理事(松平地区代表)
河合 敏之理事(豊南地区代表)・鈴木 悟理事(区長会選出)

総会当日は、表彰として「発注者感謝」「会員表彰」「役員表彰」が行われ、法人の活動に理解があり、多くの仕事を賜った1事業所・14名の一般家庭に対し発注者感謝状をお贈りしました。また、5年以上年間80日以上就業した会員65名を代表し加藤純次様、5年以上委員会委員、地域班長または職群班長を務め、組織の発展に貢献のあった会員2名を代表し松本政保様に会員表彰をお贈りしました。役員で5年以上在籍し、長年センターのために、多大な貢献のあった会員3名を代表し堀 晨雄様に役員表彰をお贈りしました。受賞された皆様おめでとうございます。

なお、今年度は役員改選の年にあたり、今回退任・就任された理事の皆様よりご挨拶がありました。退任された皆様には長年ご尽力いただいたことに感謝いたします。また、就任された理事の皆様にはシルバー人材センターの今後の発展のため、一翼を担っていただけることをご期待いたします。



ここ2年は、コロナによる緊急事態宣言発令が出されていたことから、規模を縮小し会員代表の出席による定時総会となってしまうましたが、ワクチン接種も進み、様々な行動制限も緩和されてきた最近の状況を踏まえ、3年ぶりに会員の皆様全員に案内状を出して定時総会を開催することとしました。大変嬉しく思っています。また、今回はコロナ禍を吹き飛ばして気分一新したいとの思いもあり、会場を例年の市民文化会館からコンサートホールに移して開催してみました。初めての方には駐車場等でご不便をおかけし誠に申し訳なく思います

が、これを機会に豊田市の誇るコンサートホールにまた足を運んで頂ければと思います。

さて、公益社団法人豊田市シルバー人材センターは令和2年10月に設立40周年の節目を迎えました。本来であれば記念式典を開催して会員全員で40周年を祝いたかったのですが、コロナでそれも叶わず昨年の定時総会の場で特別顕彰等を行う形ばかりの記念行事になってしまったことは誠に残念でした。会員の皆様も同じ気持ちではなかったかと思えます。

昭和55年10月の設立時からすでに41年余となりますが会員数は当時の約10倍、事業規模では約80倍となる大きな組織に発展を遂げました。これもひとえに豊田市始め関係機関の温かいご指導・ご支援や市民・事業所の皆様によるシルバー事業へのご理解・ご協力、そして歴代役員や会員の皆様のご尽力による賜物であり改めて心から深く感謝申し上げます

ます。ただ、ここ2年間はコロナの影響を受けてシルバーへの仕事の依頼が減少傾向にあり、その結果、会員数も減少するという状況になっていきます。

そしてもう1つ、今シルバーは「インボイス制度による消費税課税」という大きな問題に直面しています。会員の皆様にもすでにお伝えしていますので、ご存知の方も多いかと思えます。

現在、シルバーの会員は小規模事業者の特例で消費税を免除されていますが、インボイス制度に伴い令和5年10月からシルバー事業も課税が開始されることとなります。皆様への配分金から消費税を国に納めることになるわけで、会員の皆様にとっては大きな負担となります。もちろん、これは豊田市シルバーだけの問題ではなく、全国のシルバー全てにとつての問題です。そこで全国シルバー人材センター事業協会や愛知県シルバー人材センター連合会が中心となり、シルバーに対する特例を

引き続き認めていただけるよう国への要望活動が行われています。また、各市町村シルバーにおいては、市町村議会から国への意見書を提出していただく活動が展開されています。

豊田市においても、この6月市議会定例会で国へ「シルバーに対する支援を求める意見書」を提出していただけるようお願いしているところであり、本日ご来賓としてご出席の板垣議長様には格別のご理解をお借りして改めてお願い申し上げます。このように、シルバー人材センターを取り巻く環境には非常に厳しいものがありますが、健康で意欲のある高齢者に対し、体力や能力に合った多様な就業機会を提供するとともに、会員によるサークル活動やサロン、地域での活動など、就労すること以外にも生きがいの場づくりを提供するシルバー人材センターの役割は、高齢社会の中で増々大きくなっていきます。コロナ後を見据え、シルバーのこうした素晴らし

い活動を少しでも多くの高齢者に知っていただくことで会員を拡大し、シルバーの活動をコロナ以前にも増して活性化していくことが重要な時期にきていると思います。どうか会員の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願ひします。令和3年度は新型コロナウイルスの影響により、請負・委託事業は少し増加したものの派遣事業の減少で、全体としての実績は2年度よりも減少し、会員数についても若干減少する結果となりました。また、2年度に減少した傷害事故や賠償事故が再び増加したことも懸念されますが、こちらについては会員一人ひとりが気をつければ減らすことができますはずだと思いますので、十分に注意して業務に当たるようお願いいたします。

一方で喜ばしい報告としては、女性の新規会員が増加していることです。これは女性部会が各種講座や入会説明会を開催して女性会員の拡大に取り組んでいたことが成果であり感謝申し上げます。令和4年度も引き続きコロナ禍でのスタートとなりました。

会員の皆様の就業や自主活動がコロナ以前に戻るにはまだ時間を要すると思われませんが、昨年からは始めた防草ネット・防草シート張りなど新たな仕事の開拓や、内職ステーションの実現により、会員の皆様の就業機会の拡大に取り組んでまいりますので、会員の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

おわりに、会員の皆様も1年健康で、そして何よりも事故など起こすことなくシルバールの仕事や自主活動に取り組んでいただけることを祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。



あなたをお知り合いやお友達を
豊田市シルバー人材センターに
ご紹介下さい!

副会長就任あいさつ 高田公一



この度副会長の大役を仰せつかりました崇化館・梅坪台地区正代表の高田でございます。

さて、ここ数年はコロナ感染の影響で当シルバー人材センターの運営及び会員個々の就業面においても感染対策、健康管理等大変な状況下にあります。しかしながら、当センターにおいては第3次基本計画を推進中であり、運営面に課題も多くありますがセンターの発展に少しでも貢献できよう努力して参りたいと思っております。

なお、会員の皆様におかれましては、健康には十分配慮され日々健やかに過ごしていただきたいと思います。今後とも会長を始め事務局の職員、会員の皆様にはご指導ご協力をお願い申し上げます。

副会長退任あいさつ 堀 晨雄



6月の定時総会をもって副会長の任を終えることができました。

この間に私の心に残ったことは、お客様の声が「みにみにシルバーとよた」に載り、会員の皆さんに届くようになりました。『お褒めの言葉、苦言の事例』として頂き、資質の向上へと進んでいくことに期待しています。

併せて、会員の皆さんは良い情報としてお客様とのつながりをより強くするチャンスと捉え、たくさんの情報に耳を傾けていきましょう。私も今後は一会員として楽しいシルバー人生を歩んで参ります。

ガーデニングフェスタ

4月29日(金)から5月1日(日)までの3日間、西山公園に於いて「花やか豊田プラン」の推進と市民の緑化意識の高揚を目的として開催されたガーデニングフェスタに「山室花はうす」が今回も出店しました。始まる前から公園入口には多くのお客様が消毒、検温の受付に並び、出店されたスツツの方達もコロナ禍で制限された暮らしの中の癒しの意識を強く持たれているのか、小さな苗の一つにも大きな愛情をかけているように見受けられました。



「山室花はうす」もしく、毎回多種多様な苗を出してはいますが、今回、向日葵や金魚草等見慣れた物、若い世代に人気のある多肉植物、珍しい瓢箪の苗、見えて欲しいくなるような物が並んでお客様を引きつけていました。取材させていただいた日は、午後から雨の予報でした。昼前からポツポツと降り始め、その後本降りに翌日は晴れ予報でしたので盛況を祈りながら会場を後にしました。

4月23日(土)から5月8日(日)までのふじまつりの期間中、5月3日・4日にイベント班、ソーイング班、足助陶芸、藤岡『えとせとら』が日を分けて出店しました。天気には恵まれ久々の規制緩和もあり、コロナ禍の中にあっても多くの方が来場され、自然を満喫されてきました。今年の花も、温暖化の影響もあつてか4月に入って咲き始め、見頃も最終段階になっていて紫フジは散ってしまっていました。シロバナフジが満開だったことが唯一の楽しみでした。一方店先では、毎年買いに来ってくれる方や久しぶりにみえた方、「元気が良かった?」「変わらないね!」と会話も弾みました。藤岡の会員によるゴミ拾いのボランティア、シルバー紹介のティッシュ配りは自粛しましたが、再開できる日を待ち望んでいます。



ふじまつり

5月15日(日)稲武地区にて「歩かまい稲武」が開催されました。コロナの影響もあり、久しぶりの開催となりましたが、市内・市外に問わず大勢の参加者が稲武地区での散策を楽しんでみえました。今回、稲武地区の会員有志によりイベントを盛り上げようと、花苗の販売を行いました。イベントで販売した花苗は「山室花はうす」で会員の皆さんが丹精込めて育てたもので、来場された多くのイベント参加者の方々も色とりどりの花苗を手に入れた。当日準備した240株の花苗は瞬く間に完売となりました。



歩かまい稲武

各委員会活動計画

総務委員会

委員長 勝野 隆

当委員会の今年度の取り組みは、第3次基本計画に基づき、次に挙げる項目について実施していきます。

①入会促進への取り組み

会員募集活動を強化するため、会員による「口コミ」（紹介カードの活用）並びに新規入会会員の初年度会費負担軽減（現在初年度会費500円）の継続をしていきます。また、入会しやすい環境づくりとして「出張入会説明会」を交流館で開催できるよう検討していきます。

②会員間での交流事業の充実

会員の健康増進、また、会員同士の交流を推奨するため、今年度は「シルバーマレットゴルフ大会」を開催します。11月に運動公園での開催を予定していますが、このような行事を行うことにより、会員相互の交流、

しいては退会抑制に繋がればと期待をしております。

③地域班交流会の開催

新型コロナウイルスの影響でここ数年開催することができませんでしたが、今年度は開催時期等も含め実施に向けて検討します。

交流会を通じて、地域社会との繋がりを大切にし、ボランティア活動など社会貢献の推進に寄与できればと思います。



大橋龍雄 藤本 寿

本多仲次

林 恵

岡田明代

松井 晃

勝野 隆

柴田光秋

安全・適正就業委員会

委員長 夏目 誠

当委員会の方針・活動の重点として「安全第二」を念頭に置き、「重篤事故ゼロ」「怪我ゼロ」「賠償事故ゼロ」を目指し、組織を挙げて会員の就業事故の予防強化を考えていきます。

具体的には、

①会員への安全就業基準の周知徹底

②安全就業パトロールの実施

③受注基準の見直し

④交通安全の啓発

⑤評定委員会の活用

⑥請負・委任契約における適正就業維持・改善を行っていきます。

目標としては、重篤事故件数・交通事故件数・就業違反件数はいずれも0件、苦情・トラブルについては前年度比半減、活動計画達成率100%を目指します。

また、飛び石事故による物損事故もゼロを目指しますが昨年度の事故件数は42件であったことから今年度は30件以内としたいです。

目標達成へのハードルは大変高いものですが、会員の皆様と共に「事故ゼロ」をめざしていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしく願います。

なお、委員会の安全パトロールを毎月実施していきますので、皆様のご意見・ご要望等を聞き今後の委員会活動に繋げていきたいと思っております。



山本博志

市川浩彦

松尾康一

原田郁夫

加藤妙子

夏目 誠

加藤 清

小瀬垣和子

各支所へのお問い合わせはお気軽にお電話ください！お待ちしております

各委員会活動計画

就業開拓委員会

委員長 柴田 正次郎



- 当委員会では、
- ① 就業機会の拡大
 - ② 自主事業の拡大
 - ③ 顧客満足度の向上

就業機会の拡大については、未就業会員のニーズを把握するため、アンケート調査を基に未就業会員を対象にした個別相談会を実施し、会員の希望やその人の特性に合った就業紹介を行うと共に、コロナ禍ではありませんが状況を見ながら、新規開拓活動として企業訪問も計画して新しい就業機会の創出に努めます。

自主事業拡大については、より働きやすい環境づくりを基に、年齢を重ねても楽しく就業できる場の提供や、新規独自事業の立ち上げの検討も含め努めていきます。

顧客満足度の向上については、仕事の仕上がりについて7割をこえるお客様から「満足」のお声を頂いておりますが、一部苦情も寄せられています。寄せられた苦情については、内容を分析して関係部署と情報を共有して改善を図りたいと思います。

今後とも皆様のご協力をいただきたいと思います。



普及促進委員会

委員長 河合 敏之



- 当委員会の役割は次の3点で、その項目ごとに積極的に取り組んでいきます。
- ① センターの普及啓発活動に関すること
 - 市内でのイベント会場等、シルバーの出店に併せて委員会としてのPR活動を行っていきます。
 - ② センターの広報・PR活動に関すること
 - チラシやポスター、広報誌、インターネットからの情報発信により、会員拡大・新規就業開拓に努めます。
 - ③ 機関紙の作成に関すること

年2回「シルバーとよた」の発行を予定しており、会員の活動状況や様々な情報を皆様に提供していきたいと思っております。また、多くの皆様に広報誌をご覧いただくため、掲載内容の検討を随時行い皆様に楽しんでもらえるような広報誌づくりに努めていきます。

ここ数年は新型コロナウイルス感染症予防の観点で市内の様々なイベントが中止となっていました。少しずつではありますが、以前の活気を取り戻しつつあるかと思えます。当委員会も新しいメンバーとなりました。コロナに負けず頑張っていきたいと思っております。取材等でお邪魔させていただきますがご協力をお願いします。



※欠席 山内孝司

各支所へのお問い合わせはお気軽にお電話ください!お待ちしております

女性部会(スキップとよた)

部会長 神谷 好子

令和4年度、新しいメンバーを迎え新風を取り入れながら「スキップとよた」の名に恥じないよう軽やかに楽しんで活動していきます。また、今まで以上に会員の皆様のお力をお借りし、女性部会拡大に向けていきたいと思っております。ご協力をお願いいたします。



今年度の活動内容は、楽しく嬉しい講座の開催です。

① 9月27日(火)福祉センターにおいて、「花王」さんのご協力のもと「好印象メイクセミナー&目指せ歩行生活年齢若返り！」と題したセミナーを開催しました。

② 12月には、昨年度にも多くの皆様にご参加していただいた「リリース作り」を開催します。世界に1つしかないオリジナルリリース作りをお楽しみください。

③ 3月には「体を動かすこと」「歌うこと」をメインとしたイベントを検討中です。脳の活性化はもとより、体の隅々まで血液を巡らせ元気になりましょう。

会員の皆様のご参加お待ちしております。



山〇みどり

水野久枝

木村正子

近藤初実



磯谷幸子

〇〇知子

鷺津裕子

神谷好子



取材日記

豊寿園喫茶・売店

8月10日(水)、取材班は渡刈町にある老人福祉センター豊寿園内の喫茶・売店を取材しました。

広いホールの一角にあるこの喫茶・売店はシルバー会員が運営しています。営業時間は10時30分から14時までで、5名の会員さんが交代で2名ずつ就業しており、喫茶のメニューはコーヒーなど飲み物の他に、うどんやそば、おにぎりなどの軽食を提供しています。巷のおしゃれなカフェのようにはいきませんが、ホッと一息つける場所です。

売店ではお菓子やアイスクリームなどを販売しています。以前は豊田市のお土産も販売していましたが、コロナ禍で利用者が減少し、販売は見合わせているそうです。しかし、取材中もお菓子を購入される方が少なからずいらっしゃいました。皆さんが感染対策をしっかりとって、大勢の方々が訪れることができるようになればと思います。

豊寿園喫茶・売店で働いている会員さんの笑顔は素敵で、取材のお土産になりました。ご協力ありがとうございました。



当日就業された都築トモエ会員と川上政継会員



花はうす水曜班の皆さん



当日説明してくれた清水会員



苗の植え替えの様子



発芽した様子



種まきの様子

8月10日(水)「山室花はうす」を訪問しました。花はうすは、外環状線の山室橋のすぐ近にあり、24名の会員が年間10万ポットの花苗等を種から育てて出荷しています。

現在は、コロナ禍の影響でイベントへの参加回数の減少、肥料等の価格高騰が問題となっており、会員一同販売単価をいかに上げずに生産していくか取り組んでいるそうです。その中で、種まきの作業を短縮する方法(B&S※バーアンドスキップ)を紹介してくださいました。種をすくトレイに今までの5分の1程度の土を敷き、その上に幅5mm程、長さ50cmの棒を置き、その棒に向けて1mmにも満たない花の種を落とす。そうすると落とされた種はまるでスキップをするかのように棒の上で跳ねて土の上に飛んでいくそうです。この方法で種まきをしたところ、従来の作業で30分程度かかっていたものがたったの5分ほどでできるとのことです。何とか作業時間を短縮したいという会員の思いが伝わってきました。

仕事をしていくうえで、今までのやり方を変えていくということは、頭を柔軟にして豊かな発想が必要だと思えますが、現役を退いた今でもこのような発想ができることにただただ感心するだけでした。

また、植物にも病虫害のリスクが付いて回りますが、少しでも病気にかからないよう、肥料のタイミンダや土の配合など日々試行錯誤を繰り返しているとのこと、私たちの手元に届く苗が愛情いっぱい育てられていることを実感しました。

事務局だより

心身の健康には定期的な運動が大切です

配分金支給日(請負)

2022年 10月31日(月)	2022年 11月30日(水)
2022年 12月27日(火)	2023年 1月31日(火)
2023年 2月28日(火)	2023年 3月31日(金)

賃金支給日(派遣)

2022年 10月25日(火)	2022年 11月25日(金)
2022年 12月23日(金)	2023年 1月25日(水)
2023年 2月24日(金)	2023年 3月24日(金)

◆ 訃報 7名

令和4年8月末日現在(敬称略)

岩月 さち子 梶原 衛
 高見 功 田畑 寿子
 安部 泰順 加藤 智之
 野場 義昭

謹んでご冥福をお祈り致します。

骨密度をあげるためにも
毎日少しでも歩こう



太極拳

ヨガ

マレットゴルフ

10月の第2月曜日は「スポーツの日」として国民の祝日となっています。この祝日は「スポーツに親しみ、健康な心身を培う日」として制定されました。

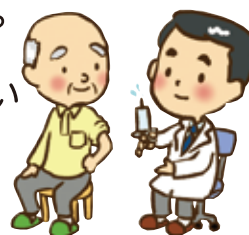
熱中症警戒アラートがたびたび発令された今夏は外で仕事をしたり、運動をしたりするには危険な気候でした。そのような夏も過ぎ、涼しくなってきたこの頃はスポーツをするには最適です。健康や体力の維持向上のため、リフレッシュのためにもスポーツをして体を動かしてみたいかがでしょうか。

ふれあいの家では、太極拳やヨガ、元気モリモリ運動など運動系の講座を実施しています。また今年も、初開催のマレットゴルフ大会(総務委員会主催)も11月に予定されています。初めての方でも気軽に参加できるものばかりです。これらを活用し、いつまでも元気な体づくりに取り組みましょう。皆さまのご参加をお待ちしております。

新型コロナウイルスのワクチン接種はお済みですか?



まだまだ油断できない
コロナ!
マスク・手洗い
忘れずに!



計らずも外出できない状況に置かれ一週間、自宅に引き籠もるという生活をしました。

ひとり言

突然の指示で買い物にすら出て行くこともできず、一週間どう過ごそうか? 引き受けていた明日の仕事を断り、その週の仕事の穴埋めをお願いし、現実を受け止め明日は今日より良い日になると無理やり自分自身に押し付けて布団に入りました。

ここで困ることと言えば食糧ですが、災害に備えて二週間分の備蓄を心掛けているので、そろそろ買い物に行かなくてはいけない時でしたが、備蓄食糧も使い三食飽きることもなく孤食でも明るい気持ちで食べることができるよう工夫しました。

これから来るかもしれない大きな災害になれば、電気やガス、水道といったライフラインは利用できなくなり、救助も大きな被害を受けた所ほど後手に廻る可能性が高いと思われる。身を守るための勉強ができました。

そしてその時、不安や不満の気持ちも大きくありました。辛いで希望を見つける癖をつけたことは大きな収穫でした。他人様の為には何もできない一週間でしたが、この経験を今後生かして行くことができればと思っています。

S・H 記